

挿れちゃいますね

先輩、

むっちり肌を味わい

〜く〜

1

上杉響士郎

先輩、挿れちゃいますね
～むっちり肌を味わい尽くし～

第1話



暑い...

何で今日に限って外で写生なんだろう

美術部の先生やたら熱心なんだよね

アチチ

唯一の救いは

憧れの小夏先輩のチアガールの姿が

おまけに小夏先輩と仲良いおかげで

こんな風に挨拶して貰えちゃったり

YEAR!

こんなに近くで見られることかなあ





あう
あう
ちが、違うん
です、これはっ
そういうん
じゃなくて…!

いいいのよ
男の子だもん
そういう気持ちに
なる時だって
有るわよ

このままじゃ
おち○ち○が
可哀相だし

先生が
来るまで
私も手伝って
あげちゃ
おっかな…?

大好きな
小夏先輩に
膝枕して
貰ってるって
思ったら…
か、勝手に…

わ、私…?
…そ、そっか

うわわわわ
ぼ、ぼく今なんて…!!

武史くん
私の事
そんな風
に見てく
れたん
だ

え……?



あら可愛い♡

でも何だか雑誌で見たのと同じような...

先輩、こ、小夏

やめ... 何をっ

やだ...♡ 剥けちゃった

これってどうしたらいいのかしら

えいっ

今度は優しくすこすしてあげるから

ごめんね ちよっと 乱暴だったかな

んみち

おきん

くきゅ

くきゅ

くきゅ

くきゅ

はあ

ドキ

はあ

ドキ

ドキ

ドキ



は…は…
こ、小夏先輩…

武史くん
気持ち良い？

凄く…
イイです

もう1回好きって
言ってくれたら

先輩にこんな事
して貰えるなんて
…夢みたいで

もっとサービス
してあげちゃうん
だけだなあ

え…
でも

こ、小夏
先輩の事

…す、凄く
好きです

うふふ、真っ赤に
なっちゃって
武史くん可愛い



はい、私のおっぱい
好きにしていーいよ

は
る
ん

アン♥

は
る

そんなに
がつつか
なくても
おっぱいは
逃げないよ

せんばい
小夏せんばいっ…

学校の中で
おち○ち○こんな
硬くして、悪い子ね
武史くんはあ…





良かった♡

すーっ

おっばいはちよつとだけ自信有るの

アン…♡

せんばいっほ、僕もう出ちゃ…っ

はっ

はっ

はっはっ

てんてんてん

てんてんてん

凄い量…

これが…
武史クンの精液♥

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

精液
出っ
ねえ♡
ちや
はっ
った

武史クンが
あんまり可愛い
声出すから

私も
もう濡れて
きちゃった…

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ほら…
見える？

…す、すごい…
先輩のパンツ
びしょびしょ

アムダー
スコートつて
言うのよ

普通は
パンティの上に
履くんだけど

はは

は

サマシヤ
鼻息荒い
感じすんづ

私はラインが
出るのが
嫌だから
履いてないの

だから濡れて
直に汚し
ちやった…

みちゃ

ムラー

にやが

あ

ん

武史クンの
おち○ち○も

出したばかり
なのに
またおつき
しちゃったね

どうかな？
脱ぎたてだから
まだあったかい？

せ…
せんばい
何を

ふふあい…っ

生地がツルツルしてて
気持ちいいでしょ？

武史クンの我慢汁と
私のおつき
混ぜしちゃった♡

先輩がさつきまで
履いてた…っ

先輩のおま○こが

直に当たってた…
アンダースコート！







も…も…
ちよつと…

ふっ…
ああア…

もうちよつとで
最後までっ！

は…ん、全部
挿入しちゃったあ
武史クンの
おち○ち○♡

あ…
くふう

ふあっあつ…
小夏先輩の
おま○こにつ
…ば、僕のがうっ

ずるるるる

ね、どっちがイイ？
手やおっぱいで
擦ってあげるのと

私のおま○こに
おち○ち○
挿入れるの

こ、こっちつ
小夏先輩の
おま○こ
一番気持ちいい
っですうっ…

だったらもつと
武史クンも
腰突上げて
可愛い声聴かせて♡

ふ、ふうっ
はあっはあ

アツッ：
あうっはあ…
せんばい

そんなに
動いちゃ
ダメですう

また出ちやう？
もお、堪え性が
無いんだから

男の子
でしょ

ほら、ぎゅって
してあげるから

✓ 射精する
✓ ガツンしてる
✓ 可愛い
…

うはああつ…
無理ですうっ
せんびやいっ
っ…止めて…

だめ
出ちやうっ…！

小夏せんびやいっ







膣内で
出しちゃったら

ぬも

ん

とろろ

赤ちゃん
できちゃう
でしょ？

は

は

は

は

は

は

は

ご、ごめん
なひやい

これじゃあ
赤ちゃんが
二人にな
っちゃう



あらあら
お掃除して
たのに

またおつきく
なっちゃうたね

は

は

は

は

は

は

は



**先輩、挿れちゃいますね
～むっちり肌を味わい尽くし～**

上杉響士郎

© 上杉響士郎／秋水社ORIGINAL